

0. 概要と組織

今期においても、「そこに住む人々が、自分の街に対して誇りと愛着を持ち、風土や歴史を元に、文化の創造と経済の自立を目指し続けること」と定義したまちづくりに資する事業に取り組み、多世代交流が自然と生まれる活動を広げてまいります。

組織においては、幅広く活動の趣旨を伝え正会員の増強に取り組むと共に、今期も約3分の1の理事を新任し、開かれたガバナンスを目指します。

1. 民間図書館事業

民間図書館事業では、地域の交流空間というコンセプトを実現するため、地域の方とのつながりを増やし、またボランティアなどに関わってくれた方々の更なる活動への参加促進を目指します。

その為に、図書館数をはじめ、ボランティア、寄贈本、本の貸出しなどを全体的に増やすと共に、その実現のために日々の業務フローを確立させます。

1-1. 図書館運営部

民間図書館事業図書館運営部は、ボランティアのみで運営する既存館のマネージメント、既存協働館の本棚の管理、新規図書館の開設を担当します。

新規開設においては、過去に協働を行っている団体との事例をさらに広げるとともに、新たに連携できる団体等を増やすことに努めます。

- ・ボランティアを1000名に増やす
- ・ボランティアの参加率を30%に増やす
- ・貸出冊数を3万冊に増やす
- ・新規協働事例の増やし方を検討しフロー化する 【1Q】
- ・新規協働事例を増やすための取り組みを進める 【2Q】
- ・図書館を延べ100館に増やす 【4Q】
- ・地域中核図書館の収益改善 【1Q】

船橋北口みらい図書館・・・会場提供の利用拡大と、自販機設置等の収入源開拓

ちばぎんざ図書館・・・会場提供の利用拡大、商店街事務受託の検討

袖ヶ浦団地まいぷれ図書館・・・ネーミングライツの契約見直し、商店街事務受託の検討

1-2. 蔵書管理部

民間図書館事業蔵書管理部は、本の寄贈から登録・配架・移送・除籍・販売など蔵書流通のすべてを担当します。

現在、船橋北口みらい図書館、袖ヶ浦団地まいぷれ図書館、ちばぎんざ図書館、船橋本町通り街づくり図書館の4つの地域中核図書館に分散している上記機能を、船橋市本町周辺を想定した船橋蔵書基地を開設し、集約を図り、より効率の良い管理を目指します。

またこの過程においては、ボランティアDAYの開催スキームを確立し、より多くのボランティア参加を促すとともに、寄贈本増加による支援者拡大に取り組み、みんなで作る図書館を体現します。

- ・寄贈本を2万冊に増やす

- ・船橋蔵書基地の設置【2Q】
- ・ボランティアDAYを80回開催する
- ・Amazon月額販売額20万円の達成

1-3. 情報システム部

民間図書館事業情報システム部では、蔵書管理システム及び店頭端末、またこれらの通信ネットワーク、蔵書検索サイト「図書館生活」などの開発・管理とこれらが持つ情報管理すべてを担当します。

1-3-1. 蔵書管理システム

蔵書管理システムでは、ボランティア用アプリとセルフ貸出しシステムの更なる改善を進めます。また、各種データ入力の補助機能を向上し、データの量と質を増やし、図書館の利用を促進する配架に活用します。

- ・オフラインデータの入力【2Q】
- ・新規開館図書館の蔵書選定（蔵書最適化システム）【4Q】

1-3-2. 蔵書検索サイト「図書館生活」

図書館生活では「図書館をもっとたのしく便利に」の趣旨を実現するため、従来の蔵書検索機能の他に、図書館の情報発信機能を強化しコンテンツを増やす事により、各図書館の楽しさ・魅力が多くの人に伝わるようなサイト作りを目指します。

- ・配架リクエストを2000件に増やす
- ・ボランティア向け機能の移管【1Q】
- ・各図書館ページのコンテンツ強化【3Q】

2. イベントサポート事業

イベントサポート事業では、地域のおまつりやイベント等の広報や事務局サポート、会場提供、ボランティアによる開催当日の運営支援などを担当します。

今期は各イベントの記録を徹底し数値化を進め、リソースの把握と活動の充実につなげます。

- ・記録の徹底【1Q】
- ・広報・事務局サポートの数値化【1Q】
- ・ボランティアDAYの開催【1Q】
- ・会場提供の拡大【2Q】

3. 生涯学習コミュニティ事業

生涯学習コミュニティ事業では、みらい大学の講師ブッキングや当日の運営などを担当します。毎月一定回数の開催を継続しながら、民間図書館事業との連携により、講義内容や関連資料のアーカイブ化に取り組みます。

- ・講座の充実【2Q】
- ・講座内容のアーカイブ化【4Q】

4. ソーシャルファイナンス事業

地域経済の循環促進を目的とし、地域に特化したクラウドファンディングサイト「FAAVO千葉」の運営を引き続き行います。引き続き一つのプロジェクトにしっかりと取組み、公開前にブラッシュアップする事で、着実に達成率を上げていきます。また、少額プロジェクトを増やし、日ごろ交流のある地域の団体に日常的に活用してもらえるサービスを目指します。

- ・達成率100%の実現
- ・プロジェクト公開10件

5. その他の事業

先の4事業と団体主旨の普及啓発を目的とし、日常的な広報活動を行います。

5-1. 会報誌

毎月発行する会報誌の部数を増やし、会員等への郵送以外に図書館やイベント等での配布を行います。またそれに伴い、コンテンツの強化に取り組み、従来の論考やアドボカシーだけでなく、日ごろの活動が伝わり、ボランティアやイベントへの参加につながる紙面構成を目指します。

- ・会報誌の一般配布【1Q】
- ・会報誌印刷の外注化【2Q】

5-2. 視察・見学・講演

近年増え続けている視察・見学等に対し、より充実した資料・情報の提供を行います。また、気軽に見学等ができるような導線を設定し、見学者の増加を目指します。